

## 令和6年度市民健康づくり推進協議会 会議録

日 時 令和6年（2024年）7月25日（木） 午後2時から午後3時まで

会 場 保健センター2階 健康学習室

出席者 小野田委員、小林委員、水島委員、倉田委員、大草委員、石原委員、柴田委員、雑賀委員、伊藤委員、岡田委員、富田委員（計11人）、事務局

欠席者 三觜委員、阿川委員

以下、主な内容

- 議題に先立ち委員改選のため、各委員に健康・こども部長から委嘱状を市長に代わり交付した。
- 各委員による自己紹介後、事務局推薦で会長に大草委員、副会長に三觜委員を互選により選出した。
- 議題「ア 令和6年度保健事業の実施について」、事務局から資料説明した。委員からは次の意見が挙げられた。
  - ・現在、県は特定不妊治療費事業について助成をしていない。市の取組として記載変更が必要。
  - ・素晴らしい取組をしているのだから、市民がわかるように周知してほしい。
  - ・HPVワクチン（キャッチアップ）について、男性は含まれないのか。
    - ➡平塚市では男性を積極的な勧奨対象としていない。
- 議題「イ 第3次平塚市健康増進計画の進捗状況（報告）」として「（ア）平塚市健康増進計画推進事業令和6年度計画」及び「（イ）第3次平塚市健康増進計画 事業評価シート（案）」を、事務局から資料説明した。委員からは次の意見が挙げられた。
  - ・資料と計画書（冊子）の関係を理解することが難しい。
    - ➡計画には分野ごとに目標値を掲げており、目標を達成するためにライフステージ別に市の主な取組を並べている。具体的な取組の例が資料3-1の裏面や資料3-2の裏面にある「取組の結果」に記載してあるもの。その複数の取組の成果が資料3-2の（3）である。今回の資料は、今後評価を行うにあたっての雛形である。次年度以降、具体的な事業実績や評価を付した資料を協議会で提示する予定である。
  - ・協議会としては、資料3-2の（2）にある個々の事業評価ではなく、（3）以降を評価することが重要だと思う。
  - ・資料の内容がかなり細かいので、体裁を含め考慮してほしい。
  - ・資料3の裏面において、「結果」は事実、「成果」は結果を解釈するものと理解としてよいのか。
    - ➡結果を考察して記入する理解でよい。関係する部・課と共有する。
- その他
  - ・委員の皆さんからは、様々な事業をいかにわかりやすく、市民の皆様にお伝えすることが課題であるとのこと意見をいただいた。本日の会議資料なども、シートだけの説明に終始するのではなく、例えば代表的なものはグラフを用いるなども工夫が必要かもしれない。次回の会議には反映させていただくことを検討したい。

以上